



行事を通して成長する子どもたち

中学部 副校長 須賀 一輝

草木の緑が美しく照り映える季節になりました。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。霧が丘学園の児童・生徒はご家族の方々の深い愛情に生まれ、地域の皆様に温かく見守られながら、伸び伸びと成長しています。

4月下旬に9年生は沖縄へ修学旅行に行っていました。期待に胸を膨らませて飛行機に乗り込んで沖縄を訪れ、水族館を見学しきれいな海岸を歩いて、美しい自然に魅入られた様子でした。二日目にはガマ入壕を体験して戦争の惨禍に思いを巡らせ、ひめゆり平和祈念資料館を見学して、平和への祈りを込めた平和集会を行いました。これまでの事前学習を生かし群読や合唱を披露して、周囲の人をも感動させる素晴らしい平和集会を創り上げました。

5月上旬には8年生が長野県白樺湖へ自然教室に行っていました。好天に恵まれ車山ハイキングでは、周囲の山並みを一望できる絶景を楽しみました。二日目は立科町にて農村体験に取り組み、グループごとに農家で半日お世話になり、普段あまりできない貴重な経験をすることができました。キャンプファイヤーや野外炊事に仲間と手を携えて取り組む生徒たちの表情は、若者らしい自信と輝きに満ち溢れていました。

このような宿泊を伴う行事では日常の学校生活とはやや異なり、子どもたちは多様な学びを経験します。教室の中で教師の指導に従って、黒板を見ながら授業などを通して学習するのは少し性質の違う学びが展開されます。

ふだん生活している場所とは違う環境に身を置いて、若々しく鋭敏な感性でその地の自然や魅力を感じ、それまでに学んできたことを生かしてその地の歴史や特徴を考えます。そこに生活する経験豊富な大人とのふれあいの中から、様々なことを感じ取って今までの自分を捉え直し、これから生きていくうえで大切なことを学びます。仲間と語り合い相互に感じたことを共有し、意見を交換して思考を深めていきます。仲間とともに力を合わせて一つのもので作り上げ、学年生徒全員で新たな活動に取り組みます。その過程では、育ちも性格も異なる若者同士のぶつかり合いがあり、相互に様々な発見があります。長所や才能も異なる仲間同士の協力から、予想を超える豊かなものが生み出され感動することもあります。ときには相手と比べて自分の至らなさに恥ずかしくなることもあれば、自分と異なる発想や思考をする仲間に敬意を抱くときもあります。自らの言動が思いのほか大きな影響を与えて当惑することもあるれば、仲間から大いに称揚されて自信につながることもあります。

霧が丘学園は、多様な人との関わり合いの中で豊かな人間性を育ぶことを大切にしています。友人との交わりの中で性格が意識され、輝く個性が磨かれていきます。仲間との協働の中で自我が認識され、人間関係を調整し深化させる能力が高められていきます。今年度も、これから4・5・6年生の宿泊学習が行われます。子どもたちが多様な体験を積み、多くの仲間と学びあう中で豊かに成長するように、しっかりと支援してまいります。今後とも子どもたちを丁寧な育み温かく見守ってくださいますよう、心よりお願いいたします。